

「一宮市ゆうゆうのやかた」のあり方に関するサウンディング型市場調査 対話の結果について

2026年1月27日
愛知県一宮市

1 サウンディング型市場調査実施の経緯

一宮市は、尾西清掃事業所（ごみ処理施設）の地元住民への還元施設として1993年に温浴施設「一宮市（旧・尾西市）ゆうゆうのやかた」を整備し、運営してきました。しかし、2013年に尾西清掃事業所が閉鎖され、今では施設の設立当初の役割は終えています。

現在も指定管理者制度により施設の運営は継続していますが、老朽化が進み、利用者数も伸び悩んでいます。市では施設のあり方について、将来的な譲渡を含め幅広い視点から検討を進めており、今回、民間事業者の皆様との対話を通じ、施設コンセプトや運営のアイデア、民間事業者の参入可能性などを調査することを目的に、サウンディング型市場調査を実施しました。

なお、サウンディングに参加した民間事業者のノウハウ等保護のため、あらかじめ事業者の了承を得た内容のみを公表します。

2 調査対象施設

一宮市ゆうゆうのやかた（愛知県一宮市北今字再鳥一23番地）

3 実施スケジュール

実施要領の公表	2025年9月24日（水）
現地見学会の開催	2025年10月14日（火）
個別対話の実施	2025年11月5日（水）～11月7日（金）

4 参加事業者数

現地見学会	6者
個別対話	5者

5 個別対話の実施概要

方法	対面による対話またはWEB会議形式による対話
場所（対面の場合）	一宮市環境センター3階研修室
対話項目	・温浴施設として事業を続けることの可能性について ・温浴施設以外の代替利用の可能性について ・事業への参画の意向 ・その他市への要望事項や関連する意見など

6 個別対話の結果概要

各項目に対し、次のような意見がみられました。

温浴施設として事業を続けることの可能性について
【事業を続けることの可能性、収支改善の可能性・アイデア】 <ul style="list-style-type: none">・温浴施設として地域住民の利用が定着しており、料金設定等を見直すことで継続できる可能性はある。・一方で近隣に低価格の競合店舗が多く、純粋に価格のみで勝負するのは難しい。・既存の入浴設備を活かした事業を取り入れることで、初期投資を抑えつつ、現在の利用者を確保しながら、新しい利用者を増やせる可能性はある。
【施設の改修・リニューアル等の必要性】 <ul style="list-style-type: none">・建物の外壁・内装の改修、各種設備の更新、リニューアルが必要である。
【民間事業者等の施設所有の可能性】 <ul style="list-style-type: none">・民間事業者が譲渡を受けることは難しく、指定管理者制度による運営継続が望ましい。・譲渡を受ける場合、譲渡前に市による大規模修繕の実施、および譲渡後もランニングコストの補助や税金の免除等が必要である。・市街化調整区域のため、用途変更などの承認が必要となる。
温浴施設以外の事業を実施することの可能性について <ul style="list-style-type: none">・永く温浴施設として親しまれており、温浴施設以外の事業展開は難しい。・高齢者の利用が多く、福祉施設としての事業展開の可能性はある。
事業への参画の意向 <ul style="list-style-type: none">・指定管理者制度なら参画は可能である。・市による大規模修繕の実施が必要である。

7 対話の結果をふまえた今後の方針

今回の調査では、料金設定等の見直しや入浴設備を活かした事業展開など、多くのご意見・ご提案をいただきました。一方で、指定管理者制度でないと民間事業者による運営は難しいこと、および民間事業者が運営するにあたり、市による大規模な修繕等が不可欠であることなど、温浴施設として運営を継続するにあたっては多額の公費投入が必要なことが明確になりました。

老朽化が進む本施設のあり方につきましては、今回の調査結果も踏まえ、引き続き検討を進めてまいります。

8 問い合わせ先

一宮市環境部施設管理課（一宮市環境センター内） 担当：長岡・山口（裕）

〒491-0201 愛知県一宮市奥町字六丁山 52 番地

電話：0586-48-5383（直通）

E-mail：skanri@city.ichinomiya.lg.jp